

のぞみのぞみ

令和6年6月19日(水)平川市平賀民生委員児童委員協議会より23名の方がのぞみの施設見学に来所されました。地域貢献の一環として、のぞみがどういう施設か説明した後、居室・食事ホール・リハビリホールを案内し、のぞみで備蓄している非常食の試食もしてもらいました。介護施設を身近に感じてもらえたようです。

介護老人保健施設（老健）とは、在宅復帰と在宅療養支援を行い、リハビリテーションを提供することで心身機能の維持・改善の役割を担う施設とされています。主に長期入院をしていた方が、退院して家庭に戻るまでの間に利用されることの多い施設です。入所中は介護・看護のサービスに加えて、医師のサポートを受けられます。作業療法士や言語聴覚士など、リハビリを行うスタッフが常勤しているのも老健の特徴の一つです。



スタッフステーション
医師からの指示を確認
利用者様の情報収集・
申し送り等を行っています

居室
利用者様には自由に過ごしてもらっています。
スマホと連動した見守りセンサーを使用して、転倒事故防止に努めています。

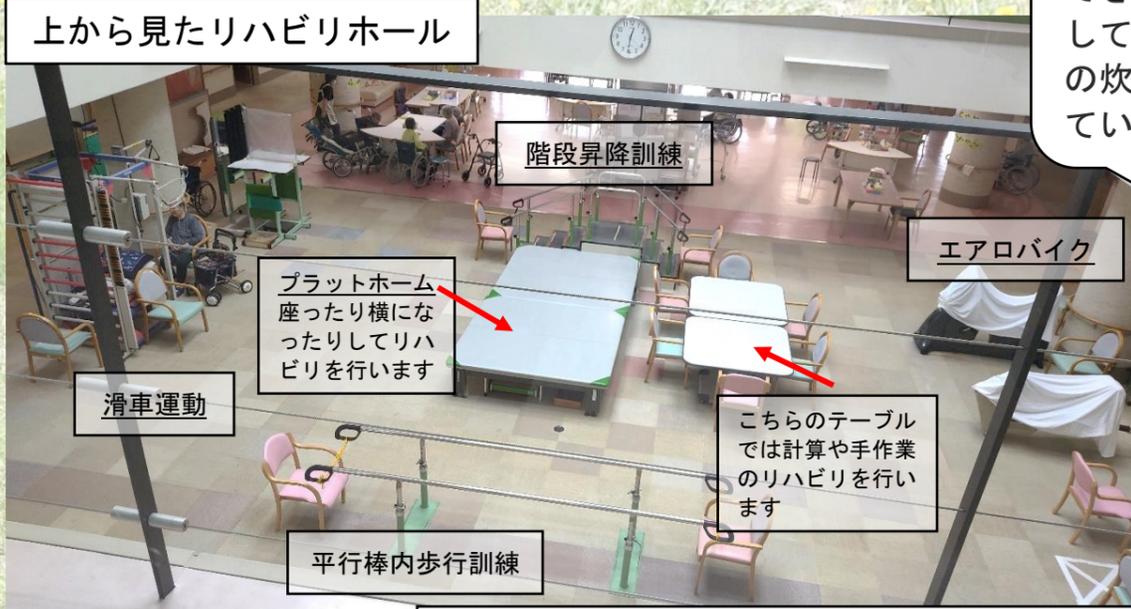
リハビリ
自宅等への復帰を目指し、利用者さん本人に合わせたリハビリを行っています。状態に合わせて随時リハビリ計画を見直しています。

リハビリホールの奥には
入所利用者様の
食事ホールがあります

施設では災害等にも対応できるように非常食を備蓄しており、今回は非常用の炊き込みご飯を試食していただきました。

利用者さんに合わせて小物を作るなどして安心して生活できるよう工夫しています。

上から見たリハビリホール



階段昇降訓練

エアロバイク

プラットフォーム
座ったり横になったりしてリハビリを行います

滑車運動

こちらのテーブルでは計算や手作業のリハビリを行います

平行棒内歩行訓練

他にも血行を良くするための機械や、器具が無くてでもできるリハビリなど利用者さんに合わせて行っています

